



各務原市社会福祉協議会

尾崎社協だより

No.63

平成28年9月15日発行

尾崎地区社会福祉協議会

発行:深田宏一

つづいて、尾崎社協事務局からは、日頃の地域福祉活動・自治活動などをビデオで説明が行われ、(活動内容はフェイスブックでパソコン、スマホから)尾崎社協(で検索可)、地域包括支援センターからは飛鳥美谷苑の活動内容の紹介がありました。後半部分では、民生児童委員につ

「福祉講座」は、研修会的な内容で、福祉の基礎的な知識を学ぶことを目的とし、「福祉を語る会」では、各自治体の福祉活動の意見交換を主眼に参加者の知識と理解を深める趣旨で実施しました。

「福祉講座」は、研修会的な内容で、福祉の基礎的な知識を学ぶことを目的とし、「福祉を語る会」では、各自治体の福祉活動の意見交換を主眼に参加者の知識と理解を深める趣旨で実施しました。

尾崎福祉講座

参加者は60余名にのぼり、各自治会長、福祉委員、民生児童委員など、多くの方々が受講され、尾崎社協が運営を担当しました。はじめに、各務原市社会福祉協議会事務局から、地域福祉の推進母体としての近況報告があり、法律や制度の枠組みだけでは解決できない諸問題が生じており、また、差し迫った生活課題の取組みなどの苦労話の紹介がありました。

みんなで尾崎の福祉を考えよう

今年も尾崎地区社会福祉協議会(以下尾崎社協)は、尾崎自治会連合会との共催で尾崎福祉講座(5月15日)と、尾崎の福祉を語る会(6月26日)を開催しました。



尾崎福祉講座

このことや、子育てサロン(プチトマト)のあり方、「ばあばの家」の家の活動などについて尾崎社協から報告をしました。これらの説明・報告などにより、社会福祉の理念や地域活動、また自治会との関係について研鑽を積むことができたと思われました。

「福祉講座」は、研修会的な内容で、福祉の基礎的な知識を学ぶことを目的とし、「福祉を語る会」では、各自治体の福祉活動の意見交換を主眼に参加者の知識と理解を深める趣旨で実施しました。



尾崎の福祉を語る会

「福祉講座」「福祉を語る会」を参考に今後とも尾崎社協スタッフ、自治会長、福祉委員を中心に地域福祉の活動や福祉の啓発に努めていきたいと思います。

「尾崎の福祉を語る会」福祉講座の参加者に加え、近隣ケアグループ代表、シニアクラブ代表など70名近くの方々に参加していただきました。参加者は5グループ(1グループ10名程度)に分かれ、各自治体単位の福祉活動の実績を報告するとともに、今後の活動予定について、それぞれ情報交換を行いました。グループ懇談の後、全体会を行い、各グループから懇談内容の発表や問題提起がなされるなど、各自治体の福祉活動の取組みに良い刺激材料になったのではないかと考えられます。また、福祉活動を行う上での価値観を共有できたことは大変有意義な会であったと言えます。

「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」

民生児童委員改選に伴うお願い

—尾崎地区民生児童委員協議会—

皆さま方ご承知のとおり、民生児童委員の任期は1期3年で、今年度は改選年になり任期は、平成28年11月30日までとなっています。尾崎地区の民生児童委員は、主任児童委員を含め総員12名です。そのうち、4名の委員が定年で退任され、現在欠員となっている2名を含め6名の選出が求められています。新任・再任を問わず3年任期ごとに、民生児童委員が担当する地区の自治会長の推薦により、選出されることとなっています。

少子高齢化が進むこの尾崎地区におきまして、民生児童委員の欠員地区が生じることは避けたいものです。現在該当自治会長が人選に努力されていますが、今だ3名(下記地区)の推薦者の選定が遅れているようです。ご協力いただける方、もしくは適任と思われる方がお見えになれば担当自治会長にお話をさせていただきたくお願ひします。

(対象者は平成28年12月1日現在で満75歳未満の方)

記

平成28年8月20日現在



次期民生児童委員未定地区(棟番号など)

尾崎北1、尾崎西1-1(B-3,4)

尾崎西1-3(B-1,2)

尾崎北3、尾崎西1-2(B-5,6,7)、尾崎西5

尾崎北4,5、尾崎西1-4(B-8,9,10)



おざきフェスティバル2016

福祉コーナー

今年も「おざきフェスティバル」で「福祉コーナー」を開設します。皆様のご来場をお待ちしております。

☆社協コーナー

体験部門、福祉介護よろず相談部門

写真部門、介護用具展示部門

☆民生児童委員コーナー

活動紹介部門



広報事業委員会

[担当副会長] 大里 春義 [委員] 後藤 哲夫、今村 守男、国井 正廣、川尻 和夫 [連絡先] 383-7695 (後藤)

「ふつらの くらしを ひあわせに」

～保育士経験者から見た子育て～

講師：松野 妙子先生

7月30日(土)に尾崎中央ふれあい会館で『子どもが育つってことは～保育士経験者から見た子育て～』というテーマで松野妙子先生(元尾崎保育所園長)を招き講演会を開催しました。

尾崎地区社会福祉協議会としては、「子育て支援」という目新しいテーマの講演会でした。当日は20代の若いお母さんから80代の高齢者まで、幅広い年齢層の人たちに参加していただきました。(計47名)

3家族17人という大勢の中で育った松野先生は「愛しい子ね」「前を向いて」というやさしくも厳しい母の言葉に、細腕ながらも家族を養う大切な働き手として頼りにされ、励ましを受けて、自主性・責任感がはぐくまれていったということです。今振り返れば、ほろ苦くもあり、いとおしくとも思える多感な少女時代のお話をされました。

参加者は、それぞれ遠い昔の自分の体験と先生の臨場感あふれる心温まる和やかな話をダブらせて往時をしのび、家族はもちろんのこと、地域の人たちの目も、子どもたちを立派な人間に育てる方策の一助となり得る事を学びました。

お話の最後に絵本「おこだませんように」(注 おこられませんように の意味)の読み聞かせがありましたが、目に見えているものがすべてではなく、子どもの内面に寄り添うことの重要性を再認識することが出来ました。



会員(会費)募集にご協力ください

市社会福祉協議会の財源は、会員の会費(一口500円/年)と事業収入や寄付金や共同募金の配分金などです。尾崎地区の昨年度の社協会員は1,524会員、1,535口で納入された会費は767,500円でした。この内の40%(307,000円)が市社協から活動費として尾崎社協に交付されました。各自治会長さんや班長さんには、会員募集のお世話をお願いしてあります。

地域福祉の充実のために、できる限り多くの皆様が社協会員になっていただけるよう、よろしくご協力お願い申し上げます。

「ぬくもりと やすらぎあふれる 我が町尾崎」

今年も映画会で もりあがりました 子ども映画館

8月6日(土)午後、恒例になりました「子ども映画館」(おびき夏祭り協賛)を尾崎ふれあい会館で開催しました。尾崎以外の地区からの参加者もあり、保護者を含め140名近くの方に来ていただきました。

上映作品は、人気の「アンパンマン」、「おぼけっくんどうかい」、「ドラゴンボール」、「忍たま乱太郎」のアニメ4本立でした。

当日は、大変暑い日でしたので冷たい飲み物を用意し、おやつは子ども達だけでなく、親御さんにも配りました。みなさん、うれしそうにお茶とお菓子を口にしながら、一時間半、熱心に見入っていました。

参加した子ども達からは「同年代の子どもと同じマットの上でお菓子を食べて、寝転んだりして映画を見てとても楽しかった。来年も絶対に見たい」という声も多くありました。



尾崎ミニサロン 今年度後半の予定

月	日	曜	場所	月	日	曜	場所
10	17	月	北洞町公民館	1	9	月	尾崎北町集会所
11	14	月	ふれあい会館	2	13	月	北洞町公民館
12	12	月	尾崎南町集会所	3	13	月	ふれあい会館



時間は午前9時頃から12時頃
入退場自由
参加費は 100円/1回どなたも
参加できます
お茶とお菓子、囲碁・将棋・麻雀
(各3セット)あります

特にイベントは用意していませんが、おしゃべりとゲームをお楽しみください。

◎尾崎社協では、各行事について写真やビデオ撮影を行い、その様子を尾崎社協広報やネットに載せさせていただきますのでご了承ください。フェイスブックの尾崎社協のページは、登録しなくてもホームページと同様にパソコンやスマホから誰でも見ることが出来ます。

<https://www.facebook.com/ozakishakyo>

または『尾崎社協』で検索してご覧ください。

尾崎社協

検索

「夢のある 明るいまちは 福祉から」